

第10回 次世代育成環境ランキング (2014年度)

(主要61都市、東京23区)

1. 本調査について

- 1) 内容: 各種統計データなどを当NPO独自の基準で評価したもの。
- 2) 目的: 次世代育成環境(出産、乳幼児保育、児童福祉、児童養護、児童保育、母子福祉、小児医療など)は自治体間に相当の格差が見られる。次世代育成支援対策推進法によって提出が義務付けられた「行動計画」(自治体、従業員301名以上の事業主による)についても取り組み姿勢に差があると思われる。「市民による健全な監視役」として、各都市の環境評価を行うことで、自治体の動機付けと一般市民の意識向上に寄与する「頑張っている自治体の私設応援団」となることを目指すもの。
- 3) 調査対象: 東京23区、地方自治法の定める政令指定都市と中核市の合計84都市
- 4) 今後の予定: 一回(春頃)継続して作成する。

2. 調査結果

1) 「次世代育成環境ランキング」2014年度

① 20政令市の上位6自治体

	総合順位	出産環境	乳幼児保育	児童福祉	児童養護	児童保育	母子福祉	小児医療
北九州市	1位	6位	4位	6位	9位	15位	4位	1位
岡山市	2位	2位	2位	10位	2位	11位	19位	3位
大阪市	3位	9位	3位	2位	1位	5位	3位	14位
熊本市	4位	3位	7位	11位	13位	16位	1位	5位
京都市	5位	1位	5位	12位	5位	13位	6位	15位
名古屋市	6位	5位	10位	3位	7位	14位	10位	8位

② 41中核市の上位12自治体

	総合順位	出産環境	乳幼児保育	児童福祉	児童養護	児童保育	母子福祉	小児医療
函館市	1位	2位	7位	3位	23位	1位	2位	5位
下関市	2位	3位	10位	2位	15位	7位	37位	11位
久留米市	3位	16位	6位	8位	26位	12位	5位	7位
長崎市	4位	7位	7位	30位	3位	4位	29位	15位
旭川市	5位	5位	25位	34位	6位	5位	11位	2位
長野市	6位	18位	14位	7位	39位	3位	1位	25位
高知市	7位	12位	12位	4位	18位	2位	13位	26位
和歌山市	8位	10位	32位	15位	2位	8位	20位	1位

秋田市	9位	1位	5位	23位	20位	24位	9位	21位
金沢市	10位	13位	2位	1位	9位	6位	25位	41位
富山市	11位	9位	3位	11位	29位	30位	28位	19位
宮崎市	12位	26位	1位	9位	33位	21位	22位	24位

③ 東京 23 区の上位 7 自治体

	総合 順位	出産 環境	保育 環境	児童 福祉	幼児 保育	児童 保育	小児 医療
千代田区	1位	1位	1位	19位	1位	3位	13位
北区	2位	13位	2位	16位	3位	1位	10位
渋谷区	3位	4位	17位	9位	8位	21位	2位
杉並区	4位	20位	12位	3位	5位	16位	1位
新宿区	5位	2位	8位	2位	10位	5位	20位
葛飾区	6位	17位	3位	10位	19位	7位	8位
文京区	7位	3位	11位	23位	2位	4位	21位

2) 東京 23 区

- ① 出産環境： 病院・診療所は千代田、新宿、豊島が、医師・助産師・看護師などは千代田、新宿、文京が充実。
- ② 保育環境： 0-3歳児保育は北、千代田、葛飾が、病後児保育は中央、千代田、品川が、保育ママは江戸川、足立、中央が充実。待機児童は千代田、杉並、北が少ない。
- ③ 児童福祉： 児童福祉施設は墨田、新宿、杉並が充実。
- ④ 幼児保育： 幼稚園は千代田、文京、北が充実。
- ⑤ 児童保育： 学童クラブ施設は千代田、北、墨田が、学童クラブ運営は墨田、荒川、板橋が充実。
- ⑥ 小児医療： 平日夜間診療は杉並、渋谷、江戸川が、土曜診療は渋谷、杉並、世田谷が、日祭日診療は板橋、千代田、大田、杉並が、年末年始診療は杉並、世田谷、足立が充実。予防接種実施率は目黒、江東、江戸川が高い。

3) 主要 61 市

- ① 出産環境： 病院・診療所は北九州、長崎、下関が、分娩取扱診療施設は京都、岐阜、下関が、分娩医師助産師は京都、青森、盛岡が多い。
- ② 乳幼児保育： 保育施設は静岡、高知、青森が、保育時間は横浜、青森、宮崎が、0-2 歳児保育は新潟、青森、宮崎が、休日保育は岡山、宮崎、富山が、病後児保育は大阪、下関、岐阜が、常勤保育士は新潟、青森、高知が、ショートステイは新潟、富山、高知が、トワイライトステイは北九州、鹿児島、高槻が充実。
- ③ 児童福祉： 児童福祉施設は神戸、金沢、下関が充実。
- ④ 児童養護： 児童養護施設は大阪、鹿児島、和歌山が充実。
- ⑤ 児童保育： 児童センターは札幌、盛岡、長野が、学童クラブは千葉、高知、長崎が充実。
- ⑥ 母子福祉： 母子生活支援施設は熊本、長野、函館が充実。



⑦ 小児医療： 平日夜間診療は北九州、和歌山、盛岡が、土曜診療は北九州、旭川、大津が、日祭日診療は北九州、函館、大津が、年末年始診療は北九州、和歌山、大津が充実。

4) 特別表彰： 本調査の結果から、以下の自治体に「次世代育成優秀環境賞」を贈ることとした。
熊本市、旭川市、文京区

3. 当法人について

- 1) 名称： 特定非営利活動法人(NPO)エガリテ大手前
- 2) 設立： 2004年4月(NPO認証:2005年10月)
- 3) 趣旨： 少子高齢化が急速に進む中で、男女共同参画社会の形成は、我が国の今後の発展のための最重要課題である。しかしながら、各種の法規制や制度導入は進められているものの、女性を取り巻く環境は十分なものとはいえず、いまだに男女格差・差別や前近代的な出産・育児・就労が続いているのが実態である。また、育児休暇や介護休暇の取得率、保育所の待機児数、子育てセンターの利用率などを見ても、制度やシステムの改善に加えて、その普及定着化と、女性を取り巻く社会の意識変化が求められていると言えるだろう。ところが、我が国の官庁や企業での不祥事の内部告発が後を絶たないことを見ても、組織による自浄・改善機能だけに期待することは難しく、社会の適正な監視や牽制が求められると言えるだろう。この法人では、次世代育成支援対策推進法により自治体や企業などが作成する「行動指針」「行動計画」の評価などの調査・研究を行ない、公表並びに、広報・出版、講演を行うとともに、あわせて行政や企業などへの提言を行うことで、男女共同参画社会の形成促進に寄与することを目的としている。ついては、この活動に、客観性、中立性、良識性、かつ非営利性が求められるため、特定非営利活動法人(NPO)とするものである。
- 4) メンバー： 主婦やサラリーマンを中心に、弁護士、大学教授、公認会計士、医師、薬剤師、税理士、産褥ヘルパー、消費生活アドバイザー、シンクタンク研究者、社会福祉士、介護福祉士、統計専門家、アナリスト、中小企業診断士、衛生管理士、福祉サービス第三者評価調査者、フードアナリスト、宅地建物取扱主任など幅広い層からの参加を得ている。
- 5) URL: <http://egaliteo.com/>
- 6) 問合せ先: <http://egaliteo.com/inquiry> または furukubos@gmail.com

4. 参考資料

- ・ 調査の概要: <http://egaliteo.com/files/content/criteria2.pdf>

以上